

【日 時】 平成26年3月18日

【訪問先】 金沢中学校 山崎健志校長 北見俊則副校長

【概 要】 児童数915名 職員数62名

【視察報告】

1、校長先生のモットー・教育目標

「感謝 当たり前からありがとうは生まれない」
(山崎校長)、「持ち味を輝かして」(北見副校長)

2、英語・国際教育の取り組み

国際教室を設置し、地域の国際交流ラウンジと連携して生徒のサポートをしている。また、取り出しと入り込みも行なっている。地域の大学生が日本語指導のボランティアをしている。

3、地域のボランティアの協力

「ノートテイクボランティア」目の不自由な子のために、先生の話をもとにノートに代わりに書くボランティア。週に一回地域の学生が学習ボランティアとして授業のサポートなどを行っている。
約30人の方で構成される「おやじたちの会」が年に三回、廊下のペンキ塗りを行うなど学校に協力的。職業体験の授業で地域の方々の協力を得ている。
剣道部や弦楽部を地域の方がボランティアで指導をしている。

4、道徳教育や郷土愛を育む取り組み

スマートフォンの扱い方やモラルについて講師を呼び、講演会を行なっている。

5、体力強化や部活動の取り組み

休み時間を利用して、バレーボール大会を実施するなど運動を促している。

6、その他

年に2,3回、3年生が金沢高校へ訪問している。

体育館に保育園児が来て一緒に走るなど地域との触れ合いを大切にしている。



【所 感】

地域の方々がとても協力的で、ボランティアを通して、地域と学校が良好な関係でうまくつながっているように感じた。また、小学生とは異なる中学生ならではの道徳の問題に対してもしっかりと対策されていた。
廊下に駅伝大会の写真が沢山飾られているのが印象的で、部活動が盛んな様子であった。

